



## 上手なシャンプーと爪切りのやり方

トリミングサロンWAFFU

トリマー 保田治子さん 監修

### 必要な道具について

- ▶ シャンプー  
トリートメント 市販されている犬用シャンプー・トリートメントで構いません。(肌の弱い子は愛犬に合った商品をお選びください)  
濃縮タイプやそのまま使うタイプ、白い毛子用、黒い毛子用など様々な種類があります。
- ▶ バスタオル 愛犬の体を十分に拭くことのできる枚数をご準備ください。スポンジタオルだと何枚も用意する必要がなく便利です。
- ▶ バスタブ ご用意できればあると便利です。シャンプー液を入れたお湯に愛犬を浸からせてジャバジャバ洗うことができます。  
また、水をかけられることが苦手なワンちゃんにも使えます。
- ▶ バスマット  
すのこ 足元が滑ると水の苦手なワンちゃんは特にパニックを起こしてしまいます。  
バスマットやすのこなど水はけが良くワンちゃんが滑りにくいものを敷いてあげてください。
- ▶ ペットボトル シャンプーやトリートメントが濃縮タイプの場合、シャンプー前に商品に記載通りの希釈で薄め、ペットボトルに用意しておく  
とても便利です。シャンプー用とトリートメント用と2本あるといいですね。
- ▶ スリッカー  
コーム ワンちゃんの毛をとかす道具です。スリッカーは短毛種以外の犬種に使用できます。余分な毛をとることができます。  
コームは毛の長い犬種に使用してください。  
ファーミネーターという商品があり、こちらを使うと余分なアンダーコートを効率よく取ってあげることができるのでお勧めです。
- ▶ 止血剤 爪切りの際に万が一出血してしまった時、クイックストップなどの粉の止血剤があると安心です。

## シャンプーとお手入れの手順



1

ワンちゃんの毛をよくとく。  
余分な毛や毛玉などしっかりと取り除いておくとシャンプーが楽です。  
シャンプー液、トリートメント液を、製品に記載の通りの分量で薄めて  
事前に作っておく。

毛玉が小さい場合は、コームを縦に使って毛玉を裂くように取ります。  
毛玉が酷い場合は、まずワンちゃんの肌と毛玉の間にコームを差し込み、  
ハサミを使用しても怪我をさせないようにしましょう。そして毛玉をハサミで  
ジョキッと「切る」のではなく、ハサミを開いたまま刃の部分を滑らせるように  
毛玉を裂いてスリッカーで取っていきます。  
こうすることで変に毛を切らずに毛玉を綺麗に取ることができます。



2

シャワーの温度を38℃くらい、人が触って少しぬるくらいにしておきます。  
バスマットやすのこを敷いて準備します。  
ワンちゃんを蛇口のところなどに繋いでおくとやりやすいです。

シャンプー後にドライヤーを使用して毛を乾かすため、あまり熱いと体温が  
上がりすぎてしまいます。夏場など特にぬるめに設定してあげましょう。



首、背中からお湯をかけて全身を濡らしていきます。  
この時シャワーヘッドは愛犬の体に付けて、シャワーの水圧が刺激にならないように気をつけます。シャンプー液を首、背中、お尻、お腹、足の順で手でよく泡立てながら洗っていきます。  
シャワーや水の苦手なワンちゃんは顔にシャワーを当てるのではなく、水を手ですくって優しく濡らしていきます。  
シャンプーも身体などで泡立った泡を乗せてなでるように洗います。

- 洗う際に軍手をして洗うとアンダーコートをさらに絡め取りながら洗うことができます。柴犬などアンダーコートの多い犬種にお勧めです。
- 顔を洗う際は顎の下の皮を持ち、少し上を向かせて洗います。シャンプーが目に入らないようにくれぐれも気をつけてください。

### 注意！！

シャワーノズルは犬の身体から離して水を当てると怖がる性格の子もいるので、必ず身体に接触させるようにして水をかけるようにしてください



流すときは顔、首、背中、お尻、お腹、足の順で流していきます。この時耳に水が入ってしまっても大丈夫です。シャワーや水が苦手なワンちゃんの顔を流すときは水を手ですくって、または小さなカップなどを桶代わりにして目に入らないように流します。目シャンプーが入ってしまった可能性もありますのでお湯でしっかり目を洗い流します。

- 目にシャンプー液が入ったままですと結膜炎になってしまう恐れがあります。
- 流し残りの多い場所は四肢の付け根、耳の後ろです。念入りに流していきます。



流し終わったらトリートメント液をシャンプーと同じ要領で手でなじませていきます。基本的に顔はトリートメントの必要はありません。首から下だけで充分です。

- 皮脂油の多い子は基本的にトリートメントは必要ありません。皮脂油が多くフケも多い子は最初にトリートメントをしてその後シャンプーをして終わりでもいいです。
- トリートメントをなじませてから時間を置く(5分くらい)と皮脂を効果的にとることができます。皮膚に油の多い子、ニオイの強い子は少し時間を置く和良好的だと思います。
- フケが多い子は、シャンプー前にトリートメントをなじませつけ置きするとフケが落ちやすいです。



6

全身を綺麗に洗い流します。念のためもう一度目を洗い流します。

7

バスタオルでよく水分を拭き取ります。ぶるぶるとさせると耳の中に残ってしまった水も飛ばすことができます。



8

ドライヤーで乾かしていきます。片手でドライヤーをかけながら反対の手でタオルで拭くと早く乾きます。身体の水分が大分とれたら、今度はドライヤーとスリッカーを使って乾かしていきます。スリッカーは毛並みに逆らってとかすと毛が立って地肌の方まで早く乾きます。まず内臓を冷やさないためにお腹から乾かしていきます。毛の中の方が乾いてきたら毛並みに沿ってスリッカーを使い整え、全身をしっかり乾かします。最後に耳の中の水分を脱脂綿や綿棒を使ってとります。

- 短毛種の子はスリッカーは使わずタオルや手で乾かしてあげてください。
- 乾かしながらノミやダニのチェック、皮膚の状態、オデキがあるかなど観察します。



**注意！！**  
ドライヤーの風を正面から顔にかけるとドライヤー嫌いになることがあるので後頭部の方から風をあててください

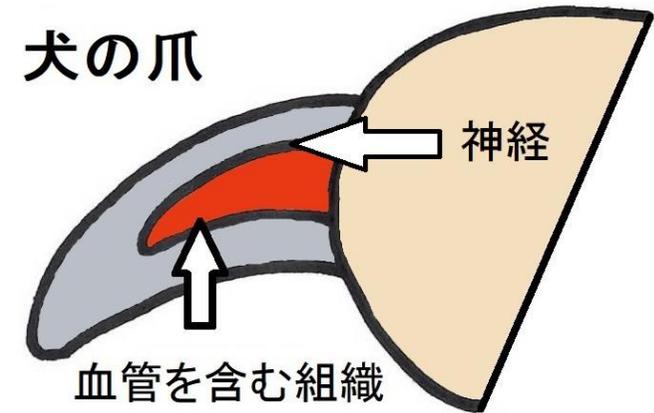
## 爪切りの時の姿勢について



犬の爪には人間の爪と違い血管があります。  
血管を切ってしまうと当然出血してしまいますので切らないよう少しずつ切っていきます。  
中央、右側、左側と3回に分けて角をとるように切っていくと良いです。  
狼爪(ろうし)も切り忘れないようにします。

**注意！！**  
血管を含む組織の周りには神経があります  
そこを切ってしまうと痛みがあり、爪切りが嫌いになってしまいます  
白い爪のワンちゃんは赤く血管が透けて見え、比較的切りやすいのですが  
黒い爪のワンちゃんは全く見えないため注意が必要です  
くれぐれも無理して短く切らないように、痛い思いをさせないでください

### 犬の爪



ワンちゃんの左前足を切るときは、  
ご自分の左手でワンちゃんの左手を持つようにします。  
この時、腕と肘でワンちゃんの顔をガードします。



左前足はこのような切り方でも良いです。



横から見るとこんな感じです。



ワンちゃんの右前足を切るときは、ご自分の左手をワンちゃんの首の上から右前足を支えて切ります。



左後ろ足はお腹から足を支えます。



右後ろ足の爪を切る姿勢です。

